

## 健康・スポーツ学分野における「日本語表現法」授業教材の開発—専門教育へ繋がる教材づくりの視点から

新潟医療福祉大学健康スポーツ学科  
吉田重和、佐藤裕紀、遠山孝司

### 【背景・目的】

文部科学省による「大学における教育内容等の改革状況について（平成24年度）」によれば、現在、初年次教育の一部に日本語表現の指導を取り入れている大学は、全大学の7割以上に及んでいる<sup>1)</sup>。新潟医療福祉大学においても、基礎教養科目群の1年次配当科目として「日本語表現法Ⅰ」「日本語表現法Ⅱ」が設置され、全学統一のシラバスの下、各学科にて授業が実施されている。

受講生の日本語運用能力の向上を企図して授業を展開するとき、授業担当者には、授業内容や構成の検討に加え、適切な教材選定が求められよう。しかしながら、日本語表現に関する教材に焦点を当てたとき、大学2年次以降の専門教育を見据えた教材が少ない点や、専門教育と初年次教育の繋がりに関する分析が限られている点など、ある種の問題状況が指摘されている<sup>2)</sup>。

上述の背景を踏まえ、本研究においては、専門教育に繋がる初年次教育及び日本語表現の在り方を検討してみたい。具体的には、新潟医療福祉大学健康スポーツ学科における「日本語表現法Ⅰ」「日本語表現法Ⅱ」2科目を検討対象事例として設定し、主に質的な観点から同科目の教材内容に分析を加えることで、健康・スポーツ学分野における「日本語表現法」授業教材の開発を目指すものとする。なお検討に際しては、これまで同科目にて実施された学生による授業評価アンケートの結果や、市販されている教材や先行研究の知見を活かしながら、専門教育へ繋がる教材づくりという視点を設定する。

### 【方法】

本研究においてはまず、分析の基盤を確立すべく、各大学にて初年次教育として実施されている「日本語表現法」関連科目の現況を概観する。さらに、検討対象事例である新潟医療福祉大学健康スポーツ学科における「日本語表現法」の状況について、過去5年間の授業評価アンケートの結果や、使用した教材の内容を整理することで明らかにする。

その後上記の結果を基に、専門教育へ繋がる教材づくりという視点から、先行研究・教材の知見を踏まえ、抑えるべき方向性を明確にした上で、具体的な教材の試案を提示する。

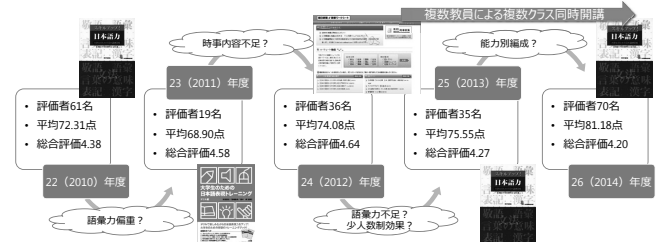
### 【結果】

初年次教育として実施されている「日本語表現法」関連科目の具体的な内容を整理した結果、「レポート・論文の書き方などの文章作法を身に付けるためのプログラム（81.9%）」「プレゼンテーションやディスカッション等の口頭発表の技法を身に付けるためのプログラム（73.6%）」などが多く取り上げら

れていることが明らかになった。

続いて検討対象事例の状況について整理したところ、使用した教材が語彙力の定着に主眼を置いている場合、それらに対する受講生の満足度が低下する傾向や、時事内容や専門教育（健康・スポーツ）に関連した内容を教材に取り入れた場合、これらに対し受講生の満足度が上昇する傾向が確認された。吉田<sup>2)</sup>に示された内容に加筆・修正し、検討対象事例の状況の変遷として暫定的に整理したものを、以下図1に示す。

図1 「日本語表現法」授業形態の変遷：使用教材を中心に



### 【考察】

以上の結果より専門教育に繋がる教材開発を企図したとき、レポート・論文作成に役立つ文章作法を受講生が身に付けること、また「専門領域や特定の教育目的の焦点化」（吉田2015:178）を図ることが、教材開発の前提として必要だと考えられる。その上で、知識定着型の教材を用い一方向的な授業を展開するのではなく、「個々の学生の主体的な思考・判断を促す」べく、「模範的なものを押しつけるのではなく、自分自身で書いた日本語をその場で生きた教材として、クラス全体においても、個人においても活用していく」（森下・久保田・鴨川2010:123）ことが授業の在り方として有効であり、教材開発においても求められる方向性であるといえよう。この点を踏まえ本研究では、森下・久保田・鴨川<sup>3)</sup>により作成された教材内容を参考にしながら、体育・スポーツ系学生を対象とした「日本語表現法」授業教材の試案を作成した。

### 【結論】

健康・スポーツ学分野における「日本語表現法」授業教材の開発に際しては、受講生が高等教育段階に相応しい日本語運用能力を身に付けられるよう、専門教育である健康・スポーツ領域を踏まえた内容で、受講生の学習成果をも含め教材化する方向性が有効である。

### 【文献】

- 1) 文部科学省：大学における教育内容等の改革状況について（平成24年度）、2015。
- 2) 吉田重和：健康・スポーツ学分野における「日本語表現法」授業形態の検討 初年次教育の充実に資するための質的研究、早稲田大学教育学会紀要、16：173-180、2015。
- 3) 森下稔・久保田英助・鴨川明子：新版 理工系学生のための日本語表現法 学士力の基礎をつくる初年次教育、東信堂、2010。